第７７回関東学生ヨット選手権大会

レース公示

主催　関東学生ヨット連盟

平成２２年８月２１日～１０月１１日

神奈川県三浦郡葉山町森戸海岸沖

後援　神奈川県教育委員会、　神奈川県セーリング連盟、　東京都ヨット連盟、

茨城県セーリング連盟、千葉県セーリング連盟、埼玉県セーリング連盟

協力　葉山町、葉山町漁業協同組合、（株）葉山マリーナー、（有）葉山ヨットサービス、

（株）リビエラリゾート、ウイダーinゼリー

1　 規則

1.1　 本レガッタには、２００９～２０１２セーリング競技規則に定義された規則が適用される。

1.2 　付則Ｐを適用する。

1.3　 「２００９～２０１２ＳＣＩＲＡ規則(公認レガッタの運営規定を除く)」及び、現行の「スナイプ級国内規則」、「スナイプ級学連申し合わせ事項」、「４７０級学連申し合わせ事項」、「乗員、セール、艇の変更に関する規定」、「レスキューに関する規定」を適用する。

1.4　 以上の規則には、帆走指示書によって変更されている箇所がある。変更の全文は帆走指示書に明記される。

2 　参加資格と申し込み

2.1　 参加資格

乗員が下記を満たす、国際スナイプ級及び国際４７０級。

1. 加盟大学（校）に学籍があり、入学してから４年以内の者で本大会エントリー表に登録済みであること。
2. ２０１０年度（財）日本セーリング連盟メンバーであること。
3. 各クラス協会の２０１０年度会員登録を済ませていること。
4. レース委員会が別に定めた誓約書を指定日までに提出していること。

2.2　 参加可能艇数

レースに参加できるのは、一校につき、各クラス３艇ずつまでとする。

2.3 　参加申し込み

1. 申し込み先

〒１７０－０００１

東京都豊島区西巣鴨２－３１－７　学生宿舎３３５

『関東学生ヨット連盟　総務　松木孝憲』宛

1. 申し込み期日：平成２２年７月３１日（金）期日厳守 必着のこと
2. 連絡先

関東学生ヨット連盟　総務　松木孝憲

電話番号　　０８０－３９６１－８２２１

携帯アドレス：　m0cre72cent@softbank.ne.jp

2.4 　参加料

1. 両クラス出場校￥７０,０００　片クラス出場校￥５０,０００
2. 振込み期日：平成２２年８月７日（金）期日厳守 必着のこと
3. 振込先

横浜銀行　渋谷支店　店番号９２７

普通預金　口座番号　６００１１５１

関東学生ヨット連盟　天辻康裕

振込人名は個人名ではなく、必ず大学名でお願いします。

3 　予選シリーズと決勝シリーズ

本レガッタは予選シリーズと決勝シリーズで構成される。

平成２２年度関東学生ヨット春季選手権大会決勝シリーズの各クラス成績上位７位までの大学は、予選シリーズを免除する。

予選シリーズのスナイプ級は成績上位７校、４７０級は上位９校が決勝に進出するものとする。決勝シリーズ進出校は、予選シリーズ最終日の時点での成績に基づき決定する。予選シリーズで起きたインシデントの上告の結果に基づく決勝シリーズのやり直し、成績の変更は行わない。

4 　日程

4.1 　開会式、閉会式

開会式は、８月２１日（土）08:30を予定する。

閉会式は、１０月１１日（月）のレース終了後を予定する。

4.2 　レース日程

８月２１日（土）　　開会式

１０月　２日（土）　　予選１日目

１０月　３日（日）　　予選２日目

１０月　９日（土）　　決勝１日目

１０月１０日（日）　　決勝２日目

１０月１１日（月）　　決勝３日目、閉会式

各クラスのレース成立数の不均衡による調整は行わない。

4.3 　レース数

レース予定数は下記の通りとする。一日に行うレース数は、レース委員会の裁量により決定する。

クラス　　　　　予選レース数　　　　決勝レース数

４７０級　　　　　　　８　　　　　　　　１０

スナイプ級　　　　　　８　　　　　　　　１０

4.4 　それぞれの日の最初のレースの予告信号の予定時刻は、09:25である。

5 　艇とセールの要件

5.1 　艇

1. スナイプ級は、「スナイプ級学連申し合わせ事項」に合致し、ＳＣＩＲＡ２０１０年度登録を済ませていること。
2. ４７０級は、「４７０級学連申し合わせ事項」に合致していること。
3. 学校ごとに登録することができる艇は、各クラス４艇以内とする。

5.2 　セール

1. ２０１０年度セール計測に合格したセールを使用すること。
2. 使用できるセールは、１校につき各クラス５セット以内とする。
3. 同一番号のセール（ダッシュナンバーがついているものも同一とみなす）を、複数の艇で同時に使用してはならない。
4. ４７０級については、レース委員会が承認した場合を除きメインセールとスピネーカーのセール番号は、一致しなければならない。

5.3 　艇への表示

1. 別途に定められた方法で、艇体に学校名を表示しなければならない。
2. 別途に定められた方法で、レース委員会によって指定されたリコールナンバーを表示しなければならない。リコールナンバーの色は、４７０級は赤、スナイプ級は黒とする。

6 　帆走指示書の交付日時及び場所

別途指示する。

7 　コース

コースは[スタート‐１‐２‐３‐１‐４‐フィニッシュ]とする。

コース図は別途指示する。

8 　艇の得点

8.1　決勝シリーズ得点と予選シリーズ得点

決勝シリーズの得点の算出にあたっては、予選シリーズの得点は持ち込まず、決勝シリーズのレース得点のみを用いる。

8.2　得点の除外

シリーズ得点の算出にあたって、得点の除外を行わない。これは規則A2を変更している。

8.3　国際数字旗６

陸上にて国際数字旗６が掲揚されたレースにおいて、レース委員会がシリーズに参加していると認めた艇が出艇しない場合、そのレースにおいて正しくスタートし、規則28に従ってコースを帆走し、タイムリミット内に定義どおりにフィニッシュした最後の艇の順位に1を加えた得点を与え、「ＤＬＨ」と記録される。これは規則A4.2とA11を変更している。ただし規則69、規則P2.3によるＤＮＥを、本規定によって変更することはできない。

8.4　シリーズに参加した艇数

規則A4.2の「シリーズに参加した艇の数」を、「レース委員会がシリーズに参加していると認めた艇の数」におきかえる。これは規則A4.2を変更している。

8.5　シリーズ、大会の成立

各クラスの予選シリーズが成立するためには、両クラスで１レースずつが完了していなければならない。

本大会が成立するためには、両クラスで決勝シリーズ１レースずつが完了していなければならない。

9 　学校別順位

9.1　参加艇数が３艇に満たない学校

レース公示2に従いクラスのシリーズに参加した学校のうち、レース委員会がそのクラスのシリーズに参加していると認めた艇が３艇未満の学校については、クラス順位の算出にあたり、艇数が３艇となるよう仮想の艇を想定する。その艇のレース得点を次のように計算する。

（シリーズに参加した学校の数×３＋１）点　（略語はＤＮＡ）

9.2　クラスのレース得点

学校ごとに、あるレースにおける当該クラスの３艇のレース得点を合計し、その学校のそのクラスのレース得点とする。

9.3　クラスのシリーズ得点、クラス順位

学校ごとに、当該クラスのレース得点をすべて合計し、その学校のそのクラスのシリーズ得点とする。クラスのシリーズ得点が低い学校を上位とする。

9.4　総合得点、総合順位

学校ごとに、決勝シリーズの両クラスのシリーズ得点を合計し、総合得点とする。

総合得点が低い学校を上位とする。決勝シリーズに片クラスしか出場できなかった学校については、総合順位の対象外とする。

9.5　タイ

クラス得点がタイとなった場合、各学校の当該クラスのレース得点を良い順に並べて、規則A8.1に準じて解く。

総合得点がタイとなった場合、各学校の各クラスのレース得点を、両クラスともすべて良い順に並べて、規則A8.1に準じて解く。

それでも解けない場合、その学校の各クラスの、最終レースにおけるレース得点を合計し、その合計得点が低いほうを上位とする。

10 　支援艇

学校関係者の管轄下にある、交代要員の運搬や、レスキュー、コーチ、観戦、サポート、応援を目的としたすべての艇を支援艇という。（ただし運営艇を除く）

支援艇は、「レスキューに関する規定」に従わなければならない。

11 　無線通信

レース中、携帯電話も含めいかなる無線通信機器も艇に持ち込んではならない。

12 　賞

決勝シリーズの学校別順位に従い、次のとおり授与する。

1. 各クラス

賞品　　　　　　　　１～３位

賞状　　　　　　　　１～６位

1. 総合

賞品　　　　　　　　１～６位

賞状　　　　　　　　１～６位

1. 各クラス成績上位７位までの大学に第７５回全日本学生ヨット選手権大会への出場権を与える。辞退する大学があった場合は、順次繰り上げるものとする。

13 　責任の否認

本大会への参加者は、すべて自己の責任において参加するものとする。規則４参照。本大会の主催者等は、大会期間中及びその前後に発生したいかなる物的損害及び人的傷害、死亡等について、責任を負わないものとする。